



## 学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>

学びの輪を広げて

校長 中野 有一郎

新緑のまぶしい季節となりました。4月下旬から気温が25度を超えるような夏日がある一方で、一日中雨で肌寒い日があるなど、このところ天候がめまぐるしく変化しています。特にこの時期は寒暖差が大きいこともあります、熱中症が起こりやすい時期でもあります。学校でもお子さんの体調管理を留意して進めてまいりますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、先日の全校朝礼では、大阪・関西万博の開幕、そのシンボルである大屋根リングについて触れ、「リングがつながる、命がつながる、世界がつながる」という思いを込めて建造されたことを伝えました。また、様々な企業のキャッチフレーズを紹介し、その中に「つながり・つながる」というフレーズが多く使われていること、それのことから、「つながる・つながり」が現代社会のキーワードなのかもしれないことを話しました。

（詳細は、『校長ブログ』4月13日付【全校朝礼】現代社会のキーワードは「つながり」！？）

（<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320122/weblog/92172140?tm=20250414102808>）

さて、学校現場に目を向けてみると、現行の中学校学習指導要領では、「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善がシブヤ未来科（総合的な学習の時間）だけでなく、各教科の学習でもその実現を目指していくことが重要であると指摘されています。

この「主体的、対話的で深い学び」の中で、特に捉えづらいものとして、「深い学び」が挙げられます。これは、私たち教員の世界でも何をもって「深い学び」というのかというの、たびたび議論になったりする内容です。その中で、『深い学び』とは、私は、『つながる、つなげる力』であると理解しています。

今までの学習内容とつなげて考えること、友達の意見と自分の意見をつなげて考えを発展させること。そして、地域の皆さんと自分たちがより深くつながるように工夫すること。また、今の自分と世界の実情をつなげて、自分には何ができるか考えることなどなど、大雑把にはこのようなことであると捉えています。

本校の学校経営方針にも「未来へつなぐ」という文言が出てきます。ここでは、生徒一人一人が異なる個性をもち、それを認識し、つなぎ、紡ぐことが「未来へつながる」とあります。

この「つながる、つなげる」力は、単に学問の枠を超え、社会生活や人間関係においても重要な資質・能力であると考えます。生徒たちがこの力を身に付けることで、未来の社会で活躍できる人材へと成長していくことを期待しています。私たち教職員一同も、生徒一人一人の成長を支え、共に学び合う姿勢を大切にしたいと思います。

## 入学式

令和7年度入学式が4月8日（火）に行われました。115名の新入生が入学、全校342名での新チームがスタートしました。今年度も素晴らしい在校生「歓迎の言葉」、新入生「誓いの言葉」がありましたので全文を紹介します。

### 「歓迎の言葉」

暖かな陽気に誘われて、花壇の花々も咲き誇り、本日の門出を祝福しているようです。新入生の皆さん、並びに保護者の皆様ご入学誠におめでとうございます。在校生を代表して、心より歓迎を申し上げます。

さて、今皆さんはどういう気持ちで席に座っていますか。これから始まる新たな生活に期待を膨らませ、あるいは不安になっている人もいるのではないかでしょうか。この中学校生活は、これから大人になっていく上で、小学校の頃から大きくレベルアップできる、とても大切な期間となります。また、部活や定期テストといった、今までにない様々なことが出来きます。そんな3年間を過ごす上で、努力しても壁に突き当たり、目標を諦めたくなることがあるかもしれません。そんな時こそ、頼れるのはこれから出来る新しい友人達です。同級生でも、先輩でも、悩みを相談したり、馬鹿な事で笑ったり。そうやってお互い支え励まし合える友人関係を築いてください。卒業するころには、きっと大人になっても忘れられない、人生の友となっていることでしょう。また、原宿外苑中学校には、部活や勉強はもちろんのこと、楽しい行事が沢山あります。五月には体育祭。スポーツを通じ、仲間と力を合わせて成長できる機会があります。十月にはなみき祭舞台の部。クラスで一つのハーモニーを奏で、その達成感は他の何にも代えがたいものです。他にも、日々多くの特別授業が行われ、充実した中学校生活を送ることができるのは間違ひありません。その中で、自分から新しいことに挑戦し、失敗を恐れずに自分の可能性を広げていって下さい。そして皆さんに分からることや困ったりしたことがあったときは、先生方や私たち在校生にいつでも相談してください。これから、日々努力を重ね、お互いに高め合っていきましょう。

最後になりますが、新入生の皆さんの一層のご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、原宿外苑中学校のますますのご発展を祈念し、歓迎の辞とさせていただきます。

在校生代表 佐田 光

### 「誓いの言葉」

桜の花が咲き誇り、新しい春の訪れを感じるこの素晴らしい日に、私たちは原宿外苑中学校の入学式を迎えることができました。この日を迎えるにあたって、私たちを温かく迎えてくださった校長先生をはじめ、先生方、地域の方々、そして先輩方に深く感謝申し上げます。

今日、私たちは中学生としての第一歩を踏み出しました。小学校を卒業し、新しい環境に飛び込むこの瞬間は、大きな期待と緊張でいっぱいです。そんな中、私が昨年、感動した出来事を皆さんに紹介したいと思います。

それは、二〇二四年のパリオリンピックでの話です。そこには、柔道日本代表の永山竜樹（りゅうじゅ）選手がいました。永山さんは、男子六十キロ級の試合で信じられない経験をされました。準々決勝で、審判が「待て」と指示を出したにも関わらず、相手選手が試合を続けてしまい、不運にも一本負けとなってしまったのです。悔しさと共に強い怒りがあったはずですが、最後は礼儀正しく挨拶をし、負けを認めました。しかし、永山選手は、そこから諦めず、敗者復活戦から這い上がり、見事に銅メダルを獲得しました。私はこの姿に、「美しいスポーツマンシップ」と「粘り強さ」を感じました。試合後、彼は相手選手にも敬意を表し、「私たちは柔道ファミリー」と語ったそうです。「最後まで諦めない姿勢」や「スポーツマンシップの素晴らしさ」を、永山選手は私たちに教えてくれました。

彼の姿を見て、「自分もそんな人になりたい」と強く思いました。中学校生活は、きっと楽しいことばかりではないでしょう。勉強や部活動で壁にぶつかることもあるかもしれません。しかし、永山選手のように、あきらめずに一步を踏み出す勇気を持てば、きっと乗り越えられるはずです。そしてそのためには、これから始まる中学校生活でたくさんの学びを取り入れ、活かしていきます。先生方、先輩方、時に優しく、時に厳しく導いていただけたらと思います。

これから、この学校の一員として誇りを持ち、新しい未来へ向かって「挑戦と進化」という言葉を大切にしながら、仲間と共に進んでいきます。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

新入生代表 大西 元樹

## 中学校体育連盟の主催する大会参加のための登録について

地域スポーツ団体等で活動して、中学校体育連盟が主催する大会に参加するため、学校からの選手登録が必要な場合は、藏重主任教諭が窓口になりますので連絡をお願いいたします。

本年度より地域スポーツ団体等から直接登録して、中学校体育連盟が主催する大会への参加も可能となっておりますので各団体とご確認の上、連絡をお願いいたします。

今月の予定	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
						開校記念日	憲法記念日
5月	4	5	6	7	8	9	10
	みどりの日	こどもの日	振替休日	専門委員会			
	11	12	13	14	15	16	17
		心臓検診(1・2,3一部)	腎臓検診 2次	体育祭予行 職員会議	腎臓検診 2次 (予備日)	安全指導	体育祭
	18	19	20	21	22	23	24
		振替休業日			避難訓練 歯科検診(1)		
	25	26	27	28	29	30	31
		全校朝礼 TLD	生徒総会		教育指導課訪問	腎臓検診 2次 (最終)	

来月の予定	日	月	火	水	木	金	土
6月	1	2	3	4	5	6	7
		中間考查	中間考查	中間考查	眼科検診(全)	〈歯科検診 (3)〉	土曜授業 原リンピック
	8	9	10	11	12	13	14
			体力テスト	職員会議・研修会			
	15	16	17	18	19	20	21
		水泳指導(始) 専門委員会	避難訓練	中央委員会	安全指導 脊柱検査(2・ 1,3一部)		
	22	23	24	25	26	27	28
		生徒会朝礼 TLD		脊柱検査(予備)			
	29	30					
		校外学習 TGG(1)					